

パブリックコメントに対する対応一覧

・パブリックコメント件数 14件(人)
 地域内 10件
 松本市内 3件
 県外 1件
 ・パブリックコメント項目 30項目

意見項目	意見内容	対応方法
計画全体に関すること	農地を守る取り組みや先代が守り育てた林の活用は大きな課題。特に公有林野の整理は重要な事項。	2-1-②において森林の現状、農業の現状について記載 4-3-③において農林業に関わる取組みを追加 5-5において農林業の維持・継承の仕組みづくりを追加
	ブナの森、森の里親制度など、これまで取り組んでいることについて記載がない。味方を増やす手段だと考える。	4-4-②において森の里親制度等の継続的な活動推進について追加 5-5今後の重点的な取組みに追加
	第3回総会において「取組主体や取組時期その内容などを具体的に定めていく」とあるが、それらが示されていない。	4地域づくりの推進において、地域の取組み主体を表記し、それぞれの取組みのロードマップを作成
	行政依存の進め方ではなく、地域内の組織、コミュニティ、人が具体的に見える計画にすべき。短期長期のタイムスケジュールが求められる。	4地域づくりの推進において、地域の取組み主体を表記し、それぞれの取組みのロードマップを作成
	広大な森林資源の利活用といった視点が検討もされず入っていない。	2-1-②において森林の現状、農業の現状について記載 4-3-③において農林業に関わる取組みを追加 5-5において農林業の維持・継承の仕組みづくりを追加
	農地の維持・保全への取り組み、後継者の確保・育成についても検討されていない。	2-1-②において森林の現状、農業の現状について記載 4-3-③において農林業に関わる取組みを追加 5-5において農林業の維持・継承の仕組みづくりを追加
	スキー場の存続が廃止かについて単に先送りされている。	5-1今後の重点的な取組みで、本年度で方向性を決定する計画としている。
	広大な森林、傾斜地に耕されてきた農地の保全についても計画に取り上げておくべきだと思う。	2-1-②において森林の現状、農業の現状について記載 4-3-③において農林業に関わる取組みを追加 5-5において農林業の維持・継承の仕組みづくりを追加
	奈川の農業をどう維持していくか、農地をどう守っていくかの観点。空き家や市営住宅を生かした移住促進・新規就農者募集育成、外国人労働者の採用に向けた行政ネットワークの活用。	2-1-② ⑦において農森林の現状について記載 4-1-②において空き家活用に関わる内容を記載 4-3-③において農林業に関わる取組みを追加 5-5において農林業の維持・継承の仕組みづくりを追加
1.計画策定にあたって	1-1、1-2の最初が同じ内容の文章で焦点がはっきりしない。1-5の内容とも重複している	内容、文章表現を整理、修正 全体的に構成を見直し
1-3.計画の位置づけ	「松本市総合計画と関連する」とあるが、その意味合いを理解できるように記載いただきたい。「3. 地域づくりの推進」では市役所の連携先が記載され、「4. 今後の重点的な取り組み」では「地域と行政が当事者意識を共有し…」とあるが、この章にその位置づけを明確に記載していただきたい。	1-2計画の位置づけにおいて、総合計画の理念や目標、施策等と連動していることを記載し、行政も当事者意識をもって取り組んでいく旨を記載 4地域づくりの推進を全体的に見直し
1-4.計画の構成	1-4と1-5は順番を入れ替えてはどうか。	順番を入れ替え1章の構成を見直し、内容も整理
2.地区づくりの方向性	タイトルが「地区づくり」としている意図はあるか(3章、5章も)。「地域づくり」ではいけないのか。	地域づくりに統一
2-1.奈川地区の現状について	民間・個人の店名まで記載するのはどうか。	個人事業の店名を削除
2-2.奈川地区の目指すビジョン	10年後の人口目標や、各産業(建設業、林業、農業、観光業など)の生産高、収入目標などを設定してはどうか。	3地域づくりの方向性 3-2 ①人口、高齢化率について目標値を提示
	10年後の数値やあるであろう奈川の姿などの見える化が見えてこない。	3地域づくりの方向性 3-2 ①人口、高齢化率について目標値を提示
	取り組んだ結果「どんな地域(姿)となっているか」を表現すべき。例えば「みかたがふえ次世代につながるふるさと奈川」とか。もう工夫ほしい。	3-2で地域づくりの目標や人口ビジョンについて追加 キャッチコピーはシンプルな言葉がよいため、修正しない。
3.地域づくりの推進	行政と住民の役割分担が具体的に見えない。具体的な事業が見えてこない。	4地域づくりの推進において、行政の連携先に加えて地域の取組み主体を表記
3-2.子どもたちを育む場をつなげる	主な取り組みでは保育園の存続について触れられていない。保育要件の緩和など制度面における検討はしないのか。4-2では再開という言葉も使われており整合性が必要では。	4-2-①において保育園の存続等に関する制度面の検討を追加 再開の可能性としては5-2においても引き続き明示
3-3.奈川ならではのなりわいをつくる	「地域・インターンシップの展開」とあるが、「地域おこし協力隊」の再活用が必要ではないか。5-2には「地域おこし協力隊」の言葉が出ている。	地域づくりの推進 4-3 ①において地域おこし協力隊の内容を追加 持続可能な地域づくりの実現に向けて 6-2に記載
	「奈川在来そばのブランド化」と言われて数年が経過しているが、スケジュールが見えない。	奈川在来の視点を4-1-⑥に追加 4-3-③に、そばを活かした地域振興の視点を記載
	「身の丈に合った小さな」の記述、受け止め方によっては適切な表現とは言えない場合も考えられる。	文章表現を修正
3-4.来訪者との新たな関係をつむぐ	観光施設の新たな展開の中に「奈川自然観察の森」「白樺峠タカ見のひろば」の活用位置づけがない。	自然観察の森については、4-4-②等のフォレストフィールドの新たな活用展開に含まれていると認識 タカ見の広場の整備については、4-2-④に追加
4-1.奈川地区の観光・交流施設の新たな展開について	2024年度で高ソメ、もっこ、野妻峠、山彩館の指定管理が更新になるので、早めの地域の方針を決めてもらいたい。	4-4において観光交流施設の整備更新について明記 今後の重点的な取組みとして5-1にも記載
	野妻峠スキー場の方針(指定管理、譲渡、岳都Rなど)は2023年度中では遅いのでは?	今後の重点的な取組みとして5-1に記載
	スキー場について「2者択一の議論ではなく」「サマーシーズンの実験・検証」とあるが「2023年度内に方針を決定させる」と矛盾するのではないか。	今後の重点的な取組みとして5-1に記載
5-3.地域主体の新たな活動を生み出す動き	「奈川ぐるぐるカフェ作戦会議」での企画内容やアイデアについても紹介してはどうか。	持続可能な地域づくりの実現に向けて6-3に追加
今後に向けて	地域住民や関係者との対話がさらに必要	今年度以降も対話を基本としていきます。
	今後具体的な計画が出されると聞いているが、今回の計画との関係は?地域内での情報共有が少なく感じている。	情報の発信に努めていきます。
	この内容が予算を伴う市の実行計画にどう反映されるのか。	庁内関係課と連携して取組んでいきます。